

運用報告書（全体版）

日本金融ハイブリッド証券オープン （年1回決算型）

円ヘッジありコース/
円ヘッジなしコース

〈愛称〉ジェイブリッド年1

第7期（決算日 2023年6月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジありコース/円ヘッジなしコース」は、このたび第7期の決算を行いましたので、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	2016年6月30日から2028年6月14日まで	
運用方針	①日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等をいいます。）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。 ②「円ヘッジありコース」と「円ヘッジなしコース」があります。	
主要投資対象	日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジありコース 日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジなしコース	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド受益証券
	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券
主な組入制限	日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジありコース 日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジなしコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



リテール営業部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

円ヘッジありコース

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率		
	円	円	円	%	%	百万円
3期(2019年6月14日)	10,330	0	0	6.2	97.6	1,027
4期(2020年6月15日)	10,978	0	0	6.3	95.1	841
5期(2021年6月14日)	11,339	0	0	3.3	96.6	722
6期(2022年6月14日)	9,994	0	0	△11.9	97.6	576
7期(2023年6月14日)	9,647	0	0	△3.5	94.6	694

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万口当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	券 率
		騰 落	率		
	円		%		%
(期 首) 2022年6月14日	9,994		—		97.6
6月末	9,858		△1.4		97.0
7月末	10,024		0.3		94.1
8月末	10,024		0.3		98.2
9月末	9,483		△5.1		97.0
10月末	9,142		△8.5		97.3
11月末	9,377		△6.2		91.5
12月末	9,542		△4.5		90.7
2023年1月末	9,809		△1.9		95.9
2月末	9,622		△3.7		97.1
3月末	9,445		△5.5		97.3
4月末	9,714		△2.8		92.5
5月末	9,671		△3.2		95.2
(期 末) 2023年6月14日	9,647		△3.5		94.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

円ヘッジなしコース

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率		
	円	円	円	%	%	百万円
3期(2019年6月14日)	11,636		0	7.3	97.0	279
4期(2020年6月15日)	12,544		0	7.8	96.7	330
5期(2021年6月14日)	13,330		0	6.3	97.0	302
6期(2022年6月14日)	14,333		0	7.5	96.4	442
7期(2023年6月14日)	15,128		0	5.5	94.1	447

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万口当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	券 率
		騰 落	率		
	円		%		%
(期 首) 2022年6月14日	14,333		—		96.4
6月末	14,411		0.5		97.2
7月末	14,466		0.9		97.4
8月末	14,923		4.1		97.6
9月末	14,753		2.9		96.4
10月末	14,596		1.8		95.9
11月末	14,150		△1.3		92.0
12月末	13,875		△3.2		93.7
2023年1月末	14,119		△1.5		95.1
2月末	14,525		1.3		97.1
3月末	14,026		△2.1		95.6
4月末	14,536		1.4		92.2
5月末	15,101		5.4		95.6
(期 末) 2023年6月14日	15,128		5.5		94.1

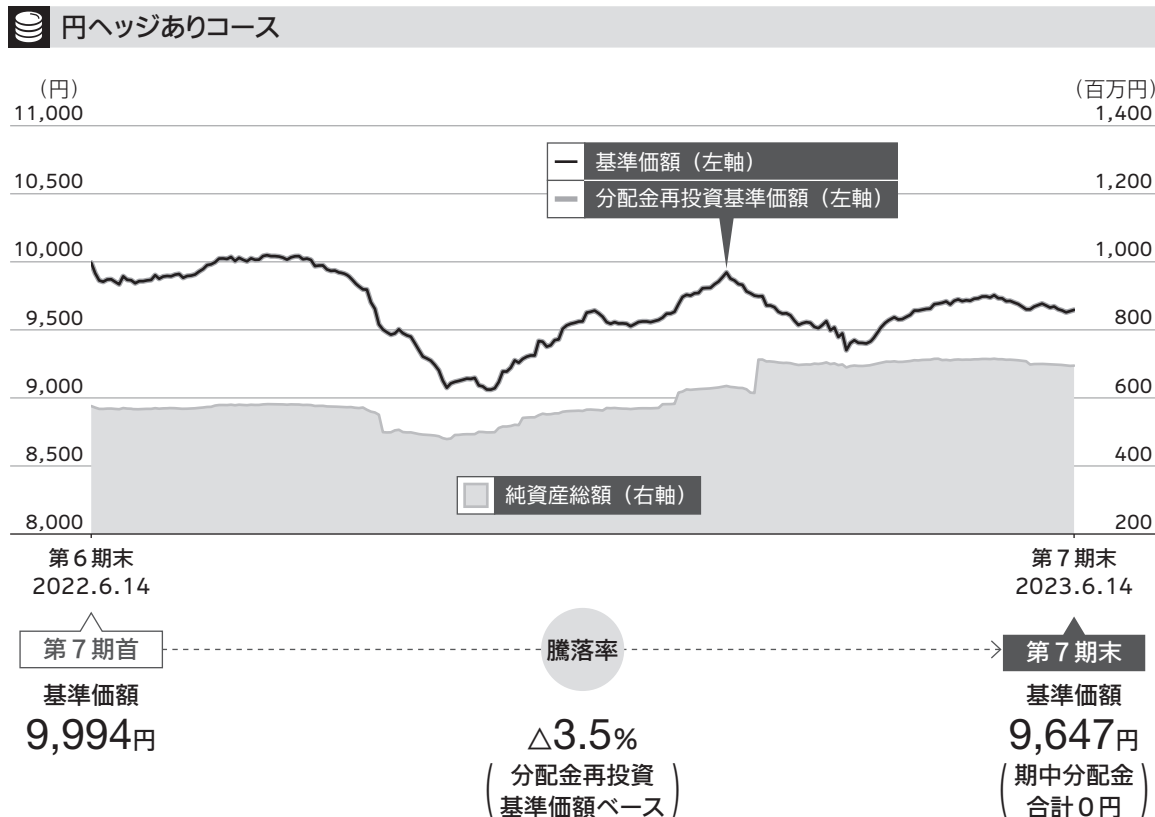
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2022年6月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジありコース

マザーファンドが保有する日本金融ハイブリッド証券の所有期間利回りがプラスとなった一方、為替ヘッジコストがマイナスに影響し、当ファンドの基準価額は下落しました。なお、当ファンドは為替ヘッジを行っているため為替変動による影響は限定的でした。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

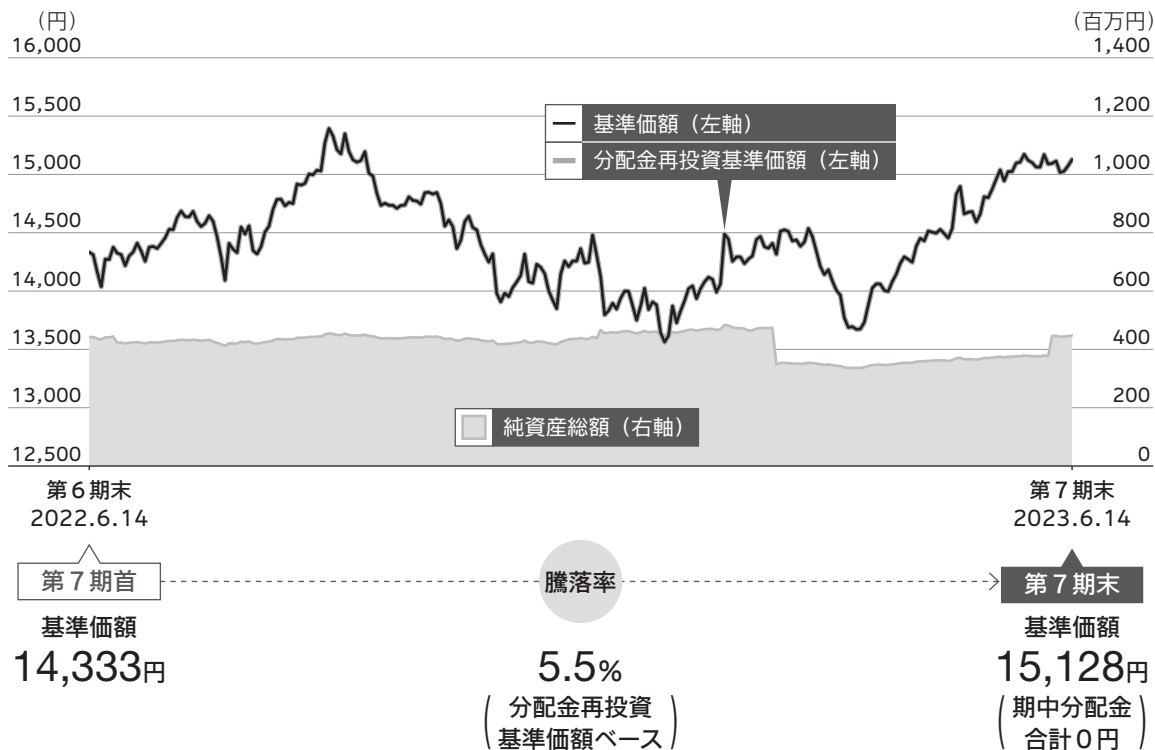
期中の騰落率は+6.2%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券は、基準となる米国債利回りが上昇（価格は下落）し、対国債スプレッドが拡大したことから、利回りは上昇しました。一方で、インカム収入を確保したことや、為替が米ドル高円安に推移したことから、基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

● 円ヘッジなしコース



- 分配金再投資基準価額の推移は、2022年6月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジなしコース

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したため、当ファンドの基準価額は上昇しました。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

期中の騰落率は+6.2%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券は、基準となる米国債利回りが上昇（価格は下落）し、対国債スプレッドが拡大したことから、利回りは上昇しました。一方で、インカム収入を確保したことや、為替が米ドル高円安に推移したことから、基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは上昇しました。

2022年10月にかけては、米国の金融引き締め姿勢などを背景に、米国債券利回りは上昇しました。米国の利上げ観測後退により利回りの上昇が一服した後、2023年3月に米地銀の経営破綻を契機に金融不安が広がったことから、利回りは低下（価格は上昇）しました。期末にかけては、金融政策の方向性に対する不透明感などから、利回りは上下しながら推移し、前期末比で上昇して終わりました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇しました。

ECB（欧州中央銀行）による金融引き締め姿勢などを背景に、2022年10月にかけてドイツ債券利回りは上昇しました。その後は、前述の金融不安や米国債券利回りにつられて上下しながら推移した結果、ドイツ債券利回りは前期末比で上昇しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは上昇しました。

英国の金融引き締め姿勢などを背景に、2022年9月にかけて英国債券利回りは上昇しました。その後は、前述の金融不安や欧米金利の動きにつられて上下しながら推移した結果、英国債券利回りは前期末比で上昇しました。

○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券の対国債スプレッドは、米国の金融引き締め姿勢や景気後退懸念を背景に、2022年10月にかけて拡大しました。その後、米国の利上げ観測が後退する中でスプレッドは縮小に転じたものの、前述の金融不安を受けてスプレッドが急拡大しました。当局対応によりスプレッドは縮小基調に戻ったものの、前期末比でみるとスプレッドは拡大しました。

○為替市場

米ドル円は米ドル高円安となりました。

2022年10月にかけては、米国の金融引き締めを背景に日米金利差が拡大する中、米ドル円は上昇しました。その後は米国の利上げ観測の一服や、日本の金融正常化観測などを受けて2023年1月にかけて米ドル安円高が進行しました。3月の米地銀の経営破綻を契機とした金融不安を受けて、米ドル円は一時下落したものの、期末にかけては、日本の金融緩和が長期化するとの見方が強まる中、米ドル円は再度上昇しました。



注．為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

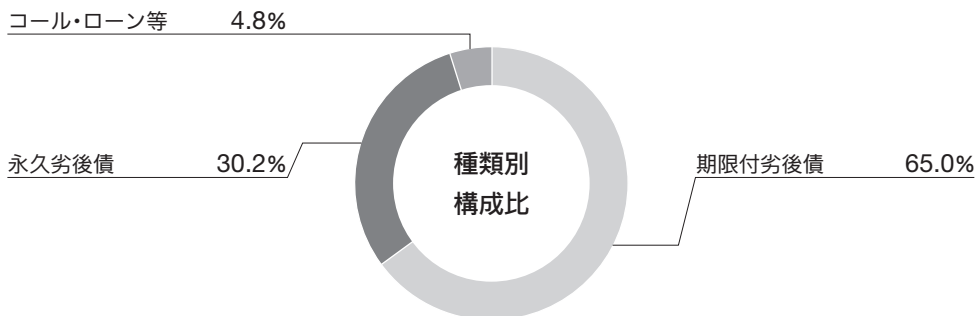
☼ 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

両コースとも、期を通して日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。円ヘッジありコースでは、為替変動リスクを回避する目的から為替のフルヘッジを行っています。

👤 日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

決算日時点のポートフォリオは9銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

第7期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



注1. 比率は、第7期末における純資産に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

☼ 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

円ヘッジありコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第7期 2022.6.15~2023.6.14
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,313

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

円ヘッジなしコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第7期 2022.6.15~2023.6.14
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,128

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

円ヘッジありコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの向上を目指します。また、為替変動リスクを回避する目的から為替のフルヘッジについても継続します。

円ヘッジなしコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの向上を目指します。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

現在のポートフォリオを基本的に維持していく予定です。ただし、市場環境によっては組み入れ銘柄の入れ替えも検討します。

● 1万口当たりの費用明細

 円ヘッジありコース

項目	第7期 2022.6.15～2023.6.14		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	89円	0.924%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,642円です。
（投信会社）	（42）	（0.440）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（42）	（0.440）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（4）	（0.044）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.036	(b)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（2）	（0.017）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（1）	（0.015）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（0）	（0.005）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	93	0.960	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

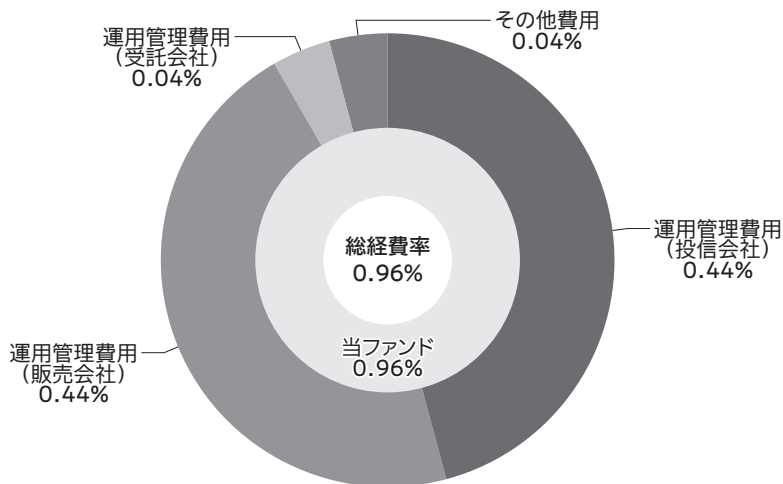
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

 円ヘッジなしコース

項目	第7期 2022.6.15～2023.6.14		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	134円	0.924%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">期中の平均基準価額は14,456円です。</div>
（投信会社）	（ 64）	（0.440）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（ 64）	（0.440）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 6）	（0.044）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	5	0.036	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（ 2）	（0.017）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 2）	（0.015）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 1）	（0.004）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	139	0.960	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

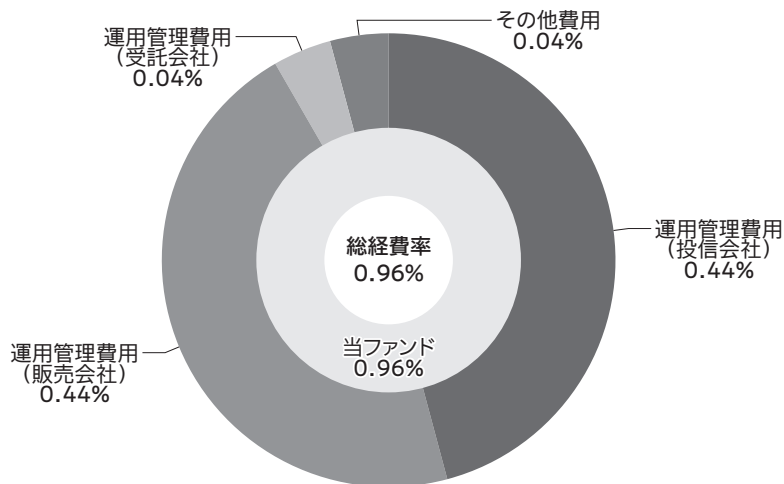
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

円ヘッジありコース

○売買及び取引の状況

(2022年6月15日～2023年6月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 174,254	千円 320,080	千口 134,152	千円 257,800

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2022年6月15日～2023年6月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年6月14日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 308,593	千口 348,695	千円 691,183

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、当期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2023年6月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千円 691,183	% 95.0
コール・ローン等、その他	36,392	5.0
投資信託財産総額	727,575	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 日本金融ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(4,457,601千円)の投資信託財産総額(4,613,669千円)に対する比率は、96.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=140.07円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年6月14日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	1,356,783,969	
コール・ローン等	36,392,159	
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	691,183,558	
未収入金	629,208,252	
(B) 負債	661,862,258	
未払金	656,454,420	
未払解約金	2,284,222	
未払信託報酬	3,071,114	
その他未払費用	52,502	
(C) 純資産総額(A-B)	694,921,711	
元本	720,368,836	
次期繰越損益金	△ 25,447,125	
(D) 受益権総口数	720,368,836口	
1万口当たり基準価額(C/D)	9,647円	

(注1) 信託財産に係る期首元本額576,503,472円、期中追加設定元本額260,854,074円、期中一部解約元本額116,988,710円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額0.9647円

(注3) 期末における元本の欠損金額 25,447,125円

○損益の状況（2022年6月15日～2023年6月14日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 14,495	
支払利息	△ 14,495	
(B) 有価証券売買損益	△ 9,390,697	
売買益	128,497,009	
売買損	△137,887,706	
(C) 信託報酬等	△ 5,725,979	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 15,131,171	
(E) 前期繰越損益金	△ 15,047,491	
(F) 追加信託差損益金	4,731,537	
(配当等相当額)	(73,488,410)	
(売買損益相当額)	(△ 68,756,875)	
(G) 計(D+E+F)	△ 25,447,125	
(H) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(G+H)	△ 25,447,125	
追加信託差損益金	4,731,537	
(配当等相当額)	(73,891,611)	
(売買損益相当額)	(△ 69,160,074)	
分配準備積立金	92,760,071	
繰越損益金	△122,938,733	

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程（2022年6月15日～2023年6月14日）は以下の通りです。

項 目	2022年6月15日～ 2023年6月14日
a. 配当等収益(費用控除後)	17,925,416円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	73,891,611円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	74,834,655円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	166,651,682円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,313円
g. 分配金	0円

円ヘッジなしコース

○売買及び取引の状況

(2022年6月15日～2023年6月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 72,366	千円 138,590	千口 83,436	千円 157,040

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2022年6月15日～2023年6月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年6月14日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 234,366	千口 223,295	千円 442,616

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、当期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2023年6月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千円 442,616	% 98.5
コール・ローン等、その他	6,705	1.5
投資信託財産総額	449,321	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 日本金融ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(4,457,601千円)の投資信託財産総額(4,613,669千円)に対する比率は、96.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=140.07円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年6月14日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	449,321,384
コール・ローン等	6,704,987
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	442,616,397
(B) 負債	1,886,698
未払解約金	347
未払信託報酬	1,856,109
その他未払費用	30,242
(C) 純資産総額(A - B)	447,434,686
元本	295,760,112
次期繰越損益金	151,674,574
(D) 受益権総口数	295,760,112口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,128円

(注1) 信託財産に係る期首元本額308,949,497円、期中追加設定元本額107,864,002円、期中一部解約元本額121,053,387円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額1.5128円

○損益の状況（2022年6月15日～2023年6月14日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,825
支払利息	△ 2,825
(B) 有価証券売買損益	23,169,104
売買益	23,936,349
売買損	△ 767,245
(C) 信託報酬等	△ 3,933,603
(D) 当期損益金(A + B + C)	19,232,676
(E) 前期繰越損益金	38,811,979
(F) 追加信託差損益金	93,629,919
(配当等相当額)	(64,236,861)
(売買損益相当額)	(29,393,058)
(G) 計(D + E + F)	151,674,574
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	151,674,574
追加信託差損益金	93,629,919
(配当等相当額)	(64,481,109)
(売買損益相当額)	(29,148,810)
分配準備積立金	58,044,655

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程（2022年6月15日～2023年6月14日）は以下の通りです。

項 目	2022年6月15日～ 2023年6月14日
a. 配当等収益(費用控除後)	13,571,497円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	5,661,179円
c. 信託約款に規定する収益調整金	93,629,919円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	38,811,979円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	151,674,574円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	5,128円
g. 分配金	0円

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

運用報告書

第10期（決算日 2022年12月14日）

＜計算期間 2021年12月15日～2022年12月14日＞

日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建てのハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等）
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
6 期(2018年12月14日)	円		%		%	百万円
	14,032	△	0.8		97.7	9,220
7 期(2019年12月16日)	15,720		12.0		98.1	8,216
8 期(2020年12月14日)	16,364		4.1		97.3	7,306
9 期(2021年12月14日)	17,937		9.6		97.6	4,505
10期(2022年12月14日)	18,614		3.8		96.4	3,604

(注1) 基準価額は1万口当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
				騰 落	率		
	(期 首)		円		%		%
	2021年12月14日		17,937		—		97.6
	12月末		18,226		1.6		96.5
	2022年1月末		17,899		△0.2		97.8
	2月末		17,389		△3.1		98.5
	3月末		18,063		0.7		99.0
	4月末		18,448		2.8		98.9
	5月末		18,168		1.3		99.0
	6月末		18,762		4.6		97.8
	7月末		18,847		5.1		98.4
	8月末		19,466		8.5		98.7
	9月末		19,256		7.4		97.4
	10月末		19,064		6.3		97.0
	11月末		18,491		3.1		92.9
	(期 末)						
	2022年12月14日		18,614		3.8		96.4

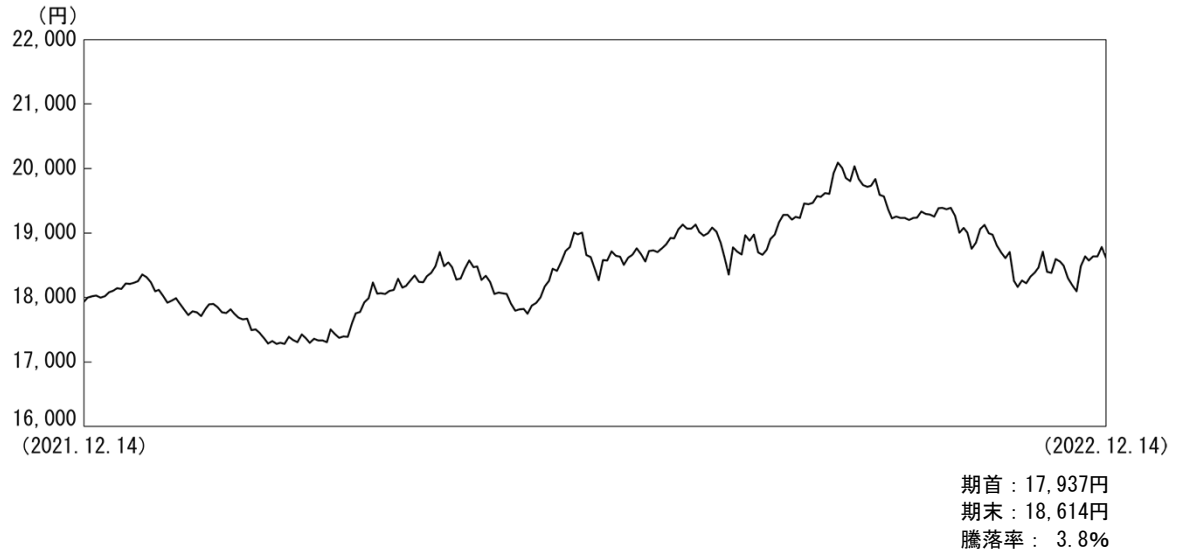
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○運用経過

(2021年12月15日～2022年12月14日)

■基準価額の推移



■基準価額の主な変動要因

保有する日本金融ハイブリッド証券は、対国債スプレッドの拡大および基準となる米国債利回りの上昇（価格は下落）により、利回りは上昇しました。一方、為替が米ドル高円安となったことから、基準価額は上昇しました。

■投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは上昇しました。

FRB（米連邦準備理事会）による金融引き締め姿勢などを背景に、米国債券利回りは上昇基調で推移しました。2022年10月下旬以降は、米国のインフレおよび金融引き締めへの警戒感が後退する中、米国債券利回りは低下（価格は上昇）しましたが、期間全体でみると米国債券利回りは上昇しました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇しました。

ECB（欧州中央銀行）による金融引き締め姿勢などを背景に、ドイツ債券利回りは上昇しました。2022年10月下旬以降は、米国債券利回りの低下や、ECBによる利上げ観測の後退などを受けて、ドイツ債券利回りは低下しましたが、期間全体でみるとドイツ債券利回りは上昇しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは上昇しました。

米欧の利回り上昇やBOE（イングランド銀行）による金融引き締め姿勢などを背景に、英国債券利回りは上昇しました。2022年9月下旬に新政権が発表した減税政策を受けて財政悪化懸念が高まり、利回りの変動性が高まる局面がありましたが、BOEによる国債買い入れや政府の政策修正により収束しました。

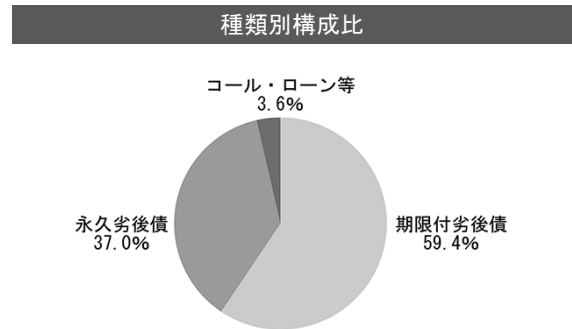
○日本金融ハイブリッド証券市場

ウクライナ情勢緊迫化や、FRBによる金融引き締め、米国景気悪化懸念などを背景に投資家のリスクセンチメントが悪化する中、日本金融ハイブリッド証券の対国債スプレッドは拡大しました。これに加え、基準となる米国債利回りが上昇したことから、同証券の利回りは上昇しました。なお、同証券の各発行体のファンダメンタルズは、健全性を維持しています。

■当該投資信託のポートフォリオ

決算日時点のポートフォリオは10銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



(注1) 比率は、第10期末における純資産に対する割合。

(注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

現在のポートフォリオを基本的に維持していく予定です。ただし、銘柄の入れ替えについては、市場環境を見ながら慎重に行うことで、当面はよりディフェンシブな運用に努める方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年12月15日～2022年12月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 3	% 0.016	(a) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 信託事務の処理にかかるその他の費用等
(保 管 費 用)	(3)	(0.016)	
(そ の 他)	(0)	(0.000)	
合 計	3	0.016	
期中の平均基準価額は18,506円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2021年12月15日～2022年12月14日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券 (投資法人債券を含む)	千アメリカ・ドル 3,829	千アメリカ・ドル 11,148

(注1) 金額は受渡代金 (経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 社債券 (投資法人債券を含む) には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年12月15日～2022年12月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年12月14日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 29,200	千アメリカ・ドル 25,643	千円 3,474,449	% 96.4	% —	% 61.2	% 28.2	% 7.0
合 計	29,200	25,643	3,474,449	96.4	—	61.2	28.2	7.0

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ	%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円		
普通社債券 (含む投資法人債券)	DAI-ICHI 4.0 260724	4.0	4,400	4,157	563,307	2026/7/24
	DAI-ICHI 5.1 241028	5.1	1,900	1,851	250,892	2024/10/28
	MEIJIYASUDA 5.2 251020	5.2	2,500	2,428	329,076	2025/10/20
	MIZUHO FG 2.564 310913	2.564	2,000	1,567	212,368	2031/9/13
	MSINS 4.95 290306	4.95	4,100	3,827	518,550	2029/3/6
	NIPPON LIFE 2.75 310121	2.75	6,300	5,051	684,372	2031/1/21
	SUMITOMO LI 3.375 310415	3.375	4,000	3,380	457,956	2031/4/15
	SUMITOMO LIFE 4.0 270914	4.0	1,000	916	124,137	2027/9/14
	SUMITOMO MI 2.142 300923	2.142	2,000	1,578	213,864	2030/9/23
	SUMITOMO MI 3.202 290917	3.202	1,000	885	119,922	2029/9/17
合 計					3,474,449	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 繰上償還条項が付与されている銘柄については、繰上償還予定日を償還日に記載しています。

*当ファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2022年12月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 3,474,449	% 96.4
コール・ローン等、その他	129,845	3.6
投資信託財産総額	3,604,294	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建資産(3,525,781千円)の投資信託財産総額(3,604,294千円)に対する比率は、97.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=135.49円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年12月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,604,294,606
コール・ローン等	90,868,920
公社債(評価額)	3,474,449,265
未収利息	37,592,503
前払費用	1,383,918
(B) 負債	2,987
未払利息	236
その他未払費用	2,751
(C) 純資産総額(A-B)	3,604,291,619
元本	1,936,313,464
次期繰越損益金	1,667,978,155
(D) 受益権総口数	1,936,313,464口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,614円

(注1) 信託財産に係る期首元本額2,511,817,711円、期中追加設定元本額326,191,709円、期中一部解約元本額901,695,956円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)	円ヘッジありコース	1,132,950,252円
日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)	円ヘッジなしコース	278,360,698円
日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型)	円ヘッジありコース	293,552,204円
日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型)	円ヘッジなしコース	231,450,310円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 1.8614円

○損益の状況 (2021年12月15日～2022年12月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	153,890,223
受取利息	153,923,740
支払利息	△ 33,517
(B) 有価証券売買損益	24,145,474
売買益	803,093,162
売買損	△ 778,947,688
(C) 保管費用等	△ 625,434
(D) 当期損益金(A+B+C)	177,410,263
(E) 前期繰越損益金	1,993,693,645
(F) 追加信託差損益金	271,348,291
(G) 解約差損益金	△ 774,474,044
(H) 計(D+E+F+G)	1,667,978,155
次期繰越損益金(H)	1,667,978,155

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。